



一般質問の模様(動画及び全文)は
下記アドレスにてご覧いただけます。

→ <http://haranaka.jp/>

2月県議会が開会されました。私は

「自転車交通問題について」

一般質問しました。

福岡県議会『2月県議会』は、2月22日に開会し、3月23日までの約1ヵ月間の会期でした。

私は、この『2月県議会』でも一般質問を行いました。

内容は「自転車交通問題」を取り上げ、

本県の自転車交通対策ならびに自転車の安全利用について、質問、政策提案しました。

また、今議会は予算議会でした。私は県議会「予算特別委員会」委員として、新年度予算に対する審議を行いました。

一般質問 骨子

自転車交通問題の解決ならびに自転車の安全利用について、知事、教育長、県警本部長に質問並びに提案を行いました。

知事への質問

Q1 自転車の交通秩序整序化に向けた総合対策推進のための体制をどのように構築し、推進するのか。また、中心となる県の組織は？

A1 自転車対策を含めた総合的な交通安全対策の推進を目的として、知事部局、県警察、政令市などで構成する『福岡県交通安全対策会議』を設置し、「県交通安全実施計画」を定め、自転車対策を推進している。また、中心となる県の組織は新社会推進部生活安全課である。

Q2 自転車の通行環境を整備するためのハード面の整備をどのように推進するのか。

A2 現在、国において、安全で快適な自転車利用環境の創出に向けた検討委員会が設置され、審議がなされている。県としては、この検討委員会の提言や国の動向も踏まえ、県警察など関係機関と連携し、効果的、効率的な整備に努める。具体的には、整備が必要な路線を選定し、道路交通状況を踏まえ、自転車道や自転車専用通行帯などの整備形態を検討した上で、優先度を勘案し、整備を進める。



教育長への質問

Q1 自転車通学を認めている中学校、高等学校において、通学のための「自転車免許証」制度の新設を提案するが、教育長のお考えは。

A1 各中・高校では、自転車通学を許可するにあたり、生徒自身の安全確保や、加害者とならないための交通安全教育の推進に努めている。県内では、県立柏陵高校が「自転車免許証制度」を試験的に導入し、事故防止に成果を上げている。こうした取り組みをはじめ、各学校で交通安全教育が推進されるようにする。

県警本部長への質問

Q1 都心部における自転車に関連する交通事故をどのように減らすのか、その対策は。社会人を対象とした安全教育の推進をどうするのか。

A1 人、車、自転車の分離を図ることが有効であることから、道路管理者と連携し、自転車専用通行帯などの整備を計画的に行う。また、安全運転管理者を通じた社会人向けの自転車の安全利用に関する教育を積極的に推進していく。

今2月県議会の「一般質問」は「自転車通行問題」についてでした。

近年、自転車利用者は急増。特に自転車通勤者、いわゆる「自転車ツーキニスト」が増えています。福岡県内の自転車保有台数は約187万台で、全国9位。県民2.7人に1台の割合の保有台数となっており、なかでも、自転車の利用が多い中学生から50代後半までの世代となると、ほぼ一人1台の保有となっています。

自転車利用者の急増により、自転車に関連する事故発生件数も増加傾向にあります。交通事故全体で自転車関連は全体の17.2%を占め、このうち、対歩行者、対自動車が増加しているのが特徴です。

県内全体で自転車に関連する交通事故は7,439件、このうち44%が福岡市内で発生しています。「自転車に関連する交通事故」の発生状況をみると、博多区と中央区での発生が多

く、博多区と中央区で全体の45%を占めています。これを「自転車と歩行者の交通事故」の区別発生状況で見ると、区別では中央区が突出しており、全体の42%を占めています。

本県における自転車交通問題は、都市部の問題といっても過言ではありません。なかでも、福岡市、とりわけ中央区の自転車交通問題に対する対策は緊要といえます。

2012(平成24)年度予算の概要

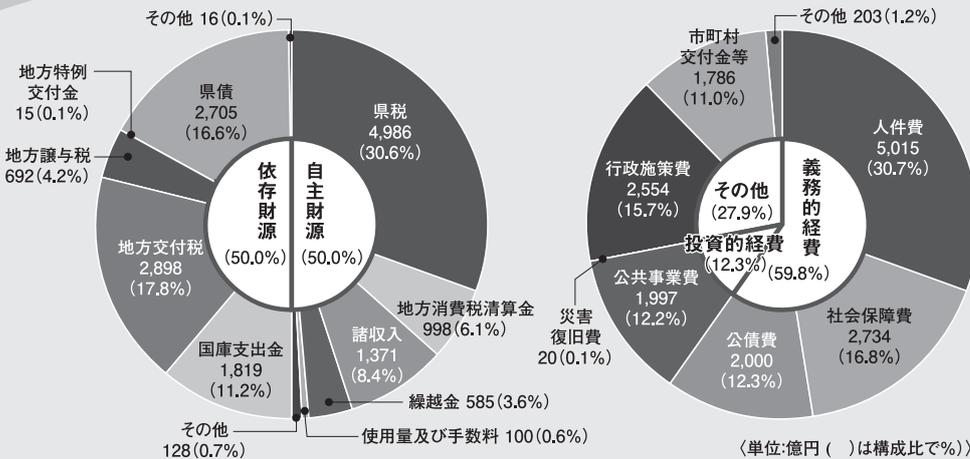
一般会計歳入歳出規模

1兆6,313億円

(前年度比 118億円、0.7%の増)

歳入

歳出



福岡県予算のうち、福岡市関連は300億6千8百万円余となっています。

1 前年度(平成23)当初予算に比べ、歳入面では、県税等は税制改正の影響や法人二税が堅調に推移すること等により、199億円の増、地方交付税等は34億円の増。一方、国の交付金で造成している基金の繰入金は、制度改正等により105億円の減となっています。県の借金にあたる県債残高は3兆1千949億円と過去最高に膨らみ、県の貯金にあたる基金残高は過去最少の272億円に減ることになります。

2 歳出面では、公共事業費は補助公共事業費が減額となる中、地域経済の発展と景気の下支えを図るため、県単独公共事業費を47億円、5.4%増額し、補助・単独公共事業費合わせて前年度比102.0%を確保。義務的経費では、社会保障費は198億円、公債費は89億円の増。人件費は107億円の減となっています。

※全文はホームページに掲載しております。



3月8日(木)、福岡市中央区天神「福岡国際ホール」において、「福岡県議会議員 原中まさし「県政報告会」」を開催致しました。大変多くの方々にご出席頂き、本当にありがとうございました。改めて感謝と御礼を申し上げます。

「県政報告会」を開催しました。

会場には、事前にご報告頂いておりました「出席票」をもとに240の座席を準備していましたが、それをはるかに超える320名(受付実人数)もの方々の参加があり、急きょ、一番後ろのテーブル4台のイスを取り外し、立席テーブルとして対応させて頂きました。ご迷惑をおかけ致しました。

当日は、ご多忙の時期にもかかわらず、多くのご来賓に駆けつけて頂きました。また、各団体からも役員の方々がお越し頂きました。ありがとうございました。

ご来賓の挨拶をお受けしたのち、私の県政報

告会を行いました。今回は、この一年間の県議会活動報告、そして、今2月県議会の課題などを中心に話をしました。

県政報告の後、懇親会に移りました。それぞれのテーブルを回らせて頂きましたが、ご参加の皆様から暖かい激励を頂きました。本当にありがとうございました。

2月県議会は3月23日で閉会しましたが、今度は、それぞれの公民館単位で「県政報告会」を予定しています。その時には、また皆様にご案内致しますので、ぜひともご参加ください。

大濠公園内「児童公園」の快適・安全な利用を促進します

大濠公園には二つの児童公園があり双方に砂場があります。子どもたちが大好きな砂場に、犬・猫のフンが毎日のように放置されたままになっており、また尿の匂いもします。市民ボランティアの方々によって日々、フンの除去、砂場の清掃が行われていますが、フンの放置は一向に減りません。子どもたちの健康を守り、安全で誰もが気持ちよく公園を使用できるように、飼い主がマナーとルールを守り、責任を持ってフンの処理を行って頂きたいと思っております。私は、県公園街路課、公園管理者とも協議し児童公園の快適・安全な利用を促進します。



六本松3丁目「護国神社南」信号機及び横断歩道のより安全にするための取り組み

国道202号線「国体道路」を挟み、護国神社側と六本松3丁目側を、歩行者を渡すために「護国神社南」信号機・横断歩道が設置されています。この場において、六本松3丁目側で歩行者が信号待ちに立つと、背後の市道から出てきた車両のちょうど前に立つ格好となります。そのため、通行車両から「国体道路に出にくい」「歩行者と交差して危ない」といった声が出されています。私は、この地元の声を受け、県警察、国土交通省福岡事務所に問題提起し、現地確認を行い、信号機・

横断歩道の移設について要請しました。その結果、県警と国交省福岡事務所での検討が開始されています。電気系統の地中埋設などの機械的な問題も含め、周辺道路状況等を勘案し、地元の声に応えられるように対策を施すとの回答を得ています。



ふくおかのシンボル「福岡城」をつくろう!

福岡市中央区にある福岡城跡は「舞鶴公園」として整備されています。近くには古代の大和朝廷の迎賓館「鴻臚館」跡が出現し、復元に向かって福岡城跡共々調査が進められています。また、すぐ西隣には県営「大濠公園」があり、この一帯は福岡市民の憩いの場であり、市内外からも多くの観光客が訪れています。この地に「福岡城」を再建し、21世紀のふくおかのランドマークにしようという活動が続いています。福岡市には、多くの海外からの観光客が訪れていますが、天神で買い物し、それか

らは他の市県に移動するという、いわば「弾丸ツアー」、も少なくありません。福岡市にゆっくりと滞在して頂き、福岡の歴史、各区の史跡・名勝を回って頂き、美味しい料理を堪能していただければ、市・県の活性化にもつながります。そのためには、多くの観光客をひきつけるふくおかの顔、ランドマークが必要です。それが「福岡城」です。

